

野外運動研究室ニュースレター

編集：筑波大学野外運動研究室広報係
発行：筑波大学野外運動研究室
〒305-8574 つくば市天王台 1-1-1
TEL/FAX 029-853-6339
URL <http://yagai.tsukubauniv.jp>

【巻頭言】

「変わる場所」



前川真生子(MC1)

私はこの春、筑波大学体育専門学群を卒業し、大学院に進学しました。野外運動研究室の室員になってから早いもので三回目の春を迎えました。この

研究室に入ってから、自分自身が心の中で大きく変わったなと思った瞬間が大きく二つありました。

今思い返せば、大学三年生の時、この研究室を専攻した理由は、「小さいころからよく家族とキャンプに出掛けていたから」、「自然の中で行うアウトドアスポーツが好きだから」というものでした。とにかく実践が大好き！少女でした。実際には、室員になってからの二年間は、実践者としてだけでなく、今まで経験のなかった指導者として、自然の中で活動する機会が増え、人前に出て話をするのが苦手な私は「やっぱり指導者は向いていないな」と日常的に感じるようになりました。しかし、二年間の室員生活を終えて、大学院生となった今、学習者の喜怒哀楽の表情が印象的で、指導することの難しさ、楽しさ、そして悔しさや達成感を感じることができるようになりました。

また、大学四年で卒業論文を書き終えた今、研究の楽しさというものも感じられるようになりました。独自の質問紙を作成したり、研究結果をまとめる際には、先行研究との共通点や相違点を発見したりして、最初は私には難しいと思っていた大きなパズルが完成していくかのような感覚を味わいました。私は今まで人前で発言することが苦手で、外に踏み出すあらゆるチャンスを逃しがちでした。し

写真：「至仏山山頂からの朝日」加藤撮影

かし、卒論発表会や学会発表を通して、自分がかわいがり作り上げてきた研究を人に聞いてもらうことによって、新たな課題を見つけることができ、それをまた論文として形に残したいと強く願うようになりました。

こうした経験は、「私、変わったな!」と思える、なんだかわくわくする瞬間でした。大学院生となった今、授業に勉強に実践、私生活やバイトなど、時に追い詰められながらも、ひたすら部活動に没頭していた大学生の頃より何倍も心身ともに充実した日々を過ごすことが出来ています。この先も、将来への様々な葛藤を体験すると思いますが、自分で感じられる小さな変化というものを大切にしていきたいと思います。

【正課事業報告】

○実技理論実習Ⅰデイキャンプ

(3年女子・1年男子)

小西諒(UG4)

[期日]2017年5月23・24日、(3年女子)

5月31日・6月1日(1年男子)

[場所]筑波大学野外運動実習場「野性の森」

[指導者]渡邊、飯野、須々木、前川、加藤、小西、竹内

[参加者]3年女子48名、1年男子61名



キャンプファイヤー

どちらのデイキャンプも様々な天候を経験でき、参加者にとっては不快に思えたかもしれませんが、とてもいい経験になったと思います

ます。夕食コンテストでは見た目から味までこだわりが感じられる、素晴らしい食事をさせてもらいました。ナイトプログラムでは森の暗闇の中、目を閉じて五感を研ぎ澄まし、日常では味わえない自然を感じることができました。キャンプファイアーでは3年女子では「女子力」1年男子では「大学生活」をテーマにスタンツを行いました。それぞれが創意工夫し即興で良い出し物をしてくれ、スタッフもともに楽しみました。全体を通して参加者は何ごとにも積極的に取り組んでくれました。各々にとって非常に良い経験になり、今後の人生に少しでもプラスになればと思います。各スタッフにとっても良い学びの場になったのではないのでしょうか。

○体育専門学群新入生オリエンテーション

加藤智行(UG4)

[期日]2017年4月11~12日

[場所]中央体育館 大学構内

[指導者]吉沢、飯野、谷中、須々木、前川、
加藤、小西、小川、堀、川辺、山岸

[参加者]体育専門学群新入生



初日のグループワーク

1日目は、あいにくの雨模様でしたが、初々しい顔ぶれで中央体育館に大勢の学生が集まり、クラスごとに様々な活動に挑戦してもらいました。特に印象に残っている活動は「進化じゃんけん」です。加藤、小西が新入生全員の前で、アメーバ、カエル、ゴリラ、神を全身で表現しました。その結果、新入生も恥ずかしさを捨て去り、全力で表現してくれました。

エレメントが進むにつれて、新入生の表情も緩んできて、笑顔が溢れる素晴らしい雰囲気へと変わっていきました。まだ知り合っていない新入生にとってはこれから4年間一緒に過ごすことになる、仲間との絆を深める

良いきっかけになったのではないかと思います。

2日目は、前日の雨模様とうってかわって快晴に恵まれました。新入生は5~6人グループに分かれて、構内見学をかねてオリエンテーションを行いました。筑波大学のキャンパスは広大で、東京ドーム55個分に相当します。そんなキャンパス構内を歩き回った新入生はとても疲れたことでしょう。

終わった後は、これからのキャンパスライフを思い描き、期待に満ち溢れている表情を浮かべていたように感じます。

○第1回卒業研究・修士論文中間発表

堀広輝(UG4)

[期日]2017年4月13日

[発表者]跡部、有馬、小川、加藤、川辺、草薙、
小西、高田、船倉、堀、飯野、吉沢



プレゼンする発表者

上記の日程で第1回中間発表が行われ、卒業論文は10名、修士論文は2名が発表を行いました。例年に比べて発表者が多かったこともあり、様々な視点からの研究が発表されました。内容や進捗状況は様々であったが、専攻生や先生方からの様々なアドバイスや質問などがあり、研究計画のブラッシュアップになったのではないかと思います。今回の中間報告会を経て、しっかり計画を立てて、研究を進めていく必要があると感じました。論文生全員が、自分に納得のいく発表ができるよう、日々研究を進めていきたいと思っています。

○整備実習

前川真生子(MC1)

[期日]2017年4月3~5日

[場所]筑波大学野性の森

[参加者]全室員

平成 29 年度、初めての実習として 4 月 3 日～5 日の 3 日間で整備実習が行われました。野外運動研究室の本拠地とも言える野性の森の施設の補修や、倉庫の整理、研究室の掃除を総勢 27 名で行いました。新 3 年生にとっては研究室の雰囲気や活動を知る機会となり、上級生にとってもロープワークや装備の扱いを再確認する場となり、単に整備、掃除をするだけでなく、研究室員全体で交流も知識も深まるいい実習となりました。また 3 日目の夜には新専攻生歓迎会が行われました。美味しい BBQ やお酒に加え、学年対抗スタンプやレクリエーションなど、賑やかな会となりました。よく笑い、よく遊び、よく学ぶ、筑波大学野外運動研究室の 1 年間の良いスタートとなったのではないかと思います。くれぐれも怪我には気をつけましょう。



ターザン整備中

○Outdoor day Tsukuba:野外運動論実習

吉沢直(MC2)

[期日]2017 年 3 月 18 日

[場所]筑波大学野外運動実習場「野性の森」

[指導者]新井、吉沢、飯野、谷中、
他野外研 UG7 名

[参加者]筑波大学に所属する学生約 60 名

大学院授業の「野外運動論実習」の一環として、「Outdoor day Tsukuba」を開催しました。この授業では、自分たちでプログラムを計画し運営します。今回は新井、飯野、吉沢を中心に、大学生やつくば市在住の大人を対象にしたアウトドアイベントを実施しました。アウトドアデイは、「つくばに住む誰もが気軽にアウトドアに触れ、自然と人との距離が近づいてほしい」そんな思いから生まれたイベ

ントです。午前中は筑波大学付近の身近な自然の中でマウンテンバイクとカヤックを楽しみ、午後は筑波大生に馴染み深いお店である「フィンラガン」「わかたろう」に協力を頂き、美味しい「クラフトビール(フィンラガン)」、「今日のご飯(わかたろう)」と BBQ を堪能しました。目標としていた参加人数 100 人には届きませんでした。天候にも恵まれ、アウトドアのある最高の休日をデザインすることができたと思います。

【課外事業報告】

○立山バックカントリースキー (オプションプログラム)

山岸夏希(UG3)

[期日]2017 年 5 月 3～5 日

[場所]富山県立山市 雷鳥沢周辺

[参加者]吉沢、飯野、前川、須々木、竹内、
山岸、高橋 (大阪体育大)



雷鳥沢にて

筑波では雪などとうの昔に忘れた 5 月、富山県立山にて 2 泊 3 日バックカントリーを行いました。当日、ケーブルカー乗り場の立山駅までは順調に着いたものの、GWの観光地は予想以上の混雑。ケーブルカーに乗るまでで 3 時間かかりました。そこからバスに乗り継ぎ登っていくと一面の雪景色が。

初日は室堂から拠点となる雷鳥沢までの移動のみでしたが、大きなザック 2 つ背負っての移動は、標高の高さも相まってとても苦しく、着いた頃には全員疲労困憊でした。

初日は多少曇っていたものの 2 日目、3 日目は晴天。恵まれた天気の中で、雷鳥たちに出会いながらバックカントリースキーを楽しむことができました。

3 日間を通して雪の厳しさ、自然の中での生活の楽しさ、団体行動の重要性などを再確認しました。厳しい環境ほどおいしいご飯は大切で元気の源となることも、班員全員が

身体をもって経験し、ツアーすべてを通して実りのあるものとなりました。

○クーパーアカデミーグループワーク研修

須々木俊介(MC2)

[期日]2017年5月8日

[場所]筑波大学野外運動実習場「野性の森」

[指導者]坂本、坂谷、佐藤、須々木

[参加者]クーパー学生8名 スタッフ2名

サッカーの指導者を目指す皆さんは、課題中やふりかえりの中で非常に活発で深いコミュニケーションがとれていました。年齢の違いなどは意に介さず、自分の意見を出し合い、試行錯誤を繰り返していました。

午後からは天候が崩れ、土砂降りの雨の中、課題に取り組むことになりましたが、諦めずに取り組む続ける姿が印象的でした。残念ながら最後の課題を達成することは出来ませんでしたが、皆さんの持っている熱意に指導している我々も圧倒される場面もあり、同年代の私にとっても刺激を受ける一日となりました。

○JFA アカデミー福島 Outdoor Training Program

飯野亜耶奈(MC2)

[期日]2017年4月15日

[場所]筑波大学野外運動実習場「野性の森」

[指導者]坂本、飯野、須々木、前川、加藤

[参加者]JFA アカデミー12期生16名、

スタッフ2名



集合写真

今年も、JFA アカデミーの12期生16名を対象に、ASE研修が行われました。来てくれた16名はまだ中学一年生になったばかりです。まだまだ子どもらしい元気さ、無邪気さがありながらも、サッカー選手として期待さ

れる彼らは礼儀正しさも持ち合わせており、指導をしている私たちも清々しい気持ちになりました。新しい環境に身を置き、期待よりもむしろ不安の方が多いのではないかと思えます。しかし、なんでも吸収できる今の時期に、様々な挑戦・経験をして、成長してほしいなど感じています。今回のASE体験が、彼らにとってどのような意味を持つかはまだわかりませんが、一流のサッカー選手として活躍してほしいです。

○春学期勉強会

飯野亜耶奈(MC2)

[期日]2017年4月4日、2017年4月27日

[場所]野性の森、5C310

[指導者]飯野、吉沢

[参加者] 野外運動研究室室員

今年度春学期は、4月4日に第1回「ASE」、4月27日に第2回「山スキー」に関する勉強会を実施しました。「ASE」では、野性の森で実際にエレメントを使用し、M2の飯野、吉沢をファシリテーターとして、ASE講習会の一連の流れを体験した後、座学で理論的な知識に関する勉強を行いました。「山スキー」は研究室のオプションツアーとして、GWに立山でのバックカントリースキーを目前に控えていたため、数年前に実施した立山オプションツアーの情報をもとに、山スキーとは何かについて、講義形式で行われました。バックカントリースキーや雪山でのキャンプ生活の様子がイメージでき、有意義な時間であったと思います。引き続き、秋学期も勉強会を行っていくことで、野外に関する知識を深めていきたいと思っています。

○渡邊ゼミ合宿

川辺光貴(UG4)

[期日]2017年3月19日～20日

[場所]長野県白馬八方

[参加者]渡邊、吉沢、飯野、前川、谷中、有馬、

川辺、船倉

上記の日時・場所にて、渡邊ゼミ合宿が行われました。合宿のメインは卒業論文の勉強会、バックカントリースキーの実践です。

初日はグレンデで山スキーの練習を行い、夜には勉強会、また現在高校教師をされてい

る清水啓一さん(キャンプネーム:ボサノバ、
野外研OB)をお招きしました。現職の先生
から聞くお話はとても貴重なもので、教育現
場の現実を少し知れる機会となりました。

2日目はゲレンデをリフトで1番上まで登
った後、そこからはシールを付け、さらに頂
上を目指して登山しました。八方池で昼食を
食べ、バックカントリースキーを行いました。
華麗に滑る吉沢・谷中の後ろ姿を見ながら、
有馬・川辺の初心者組は何度も転倒しなが
らも無事怪我なく全員で下山することが出来
ました。

ゲレンデとは違った大自然を目の前に、慣
れない山スキーは過酷なものでした。1人、全
く滑れず涙目をゴーグルで隠す川辺の近く
にはいつも仁先生がいました。もっとも上
手になって、今度はみんなと一緒に滑り降
りたいと心から思える経験になりました。



無事に下山して、満面の笑み

○坂本ゼミ合宿

加藤智行(UG4)

[期日]2017年3月21日~3月22日

[場所]長野県戸隠スキー場

[指導者]坂本、坂谷

[参加者]飯野、前川、須々木、加藤、小西

1日目は、戸隠スキー場のリフトで上まで
上がり、しばらく板を脱いでハイクアップし
ました。小高い丘に出たところで、拠点を作
りました。雪中パーティーを盛大に行いまし
た。坂谷先生手作りのチーズフォンデュは印
象に残っています。学生たちはカレーうどん
に精を出しました。自分たちが思っている以
上の素晴らしい味でとても満足しました。昼
食後はオフピステを滑走しました。夜は柏屋
さんにお世話になり、美味しくとても豪華
な夕食をいただきました。夕食後は論文討論

会を行い、就寝に至りました。それぞれの意
見をいただき、論文生は良いスタートをき
れたのではないのでしょうか。

2日目の午前中は、戸隠スキー場で、各々
スキー・スノーボードを楽しみました。午後は、
善光寺で参拝をし、胎内めぐりを体験しまし
た。



善光寺での写真

○筑友会(BBQパーティー)

竹内慧(UG3)

[期日]2017年5月17日

[場所]筑波大学野生

[指導者]渡邊、吉沢、須々木、飯野、前川、
谷中、小西、竹内、山岸、
他体育系院生

[参加者]体育系先生方他

つくば市長、筑波大学副学長、体育系先生方
など、計120名以上の参加者が集まる盛大な
会となりました。野外運動研究室の院生を中
心に、学群生、他研究室の学生も協力して、事
前準備から当日の給仕までを行い、円滑に進
めることができました。その中で、先生方と
の、あるいは、研究室を越えた学生同士の交
流を深めることができ、とても充実した会に
なりました。

○日本サッカー協会公認S級コーチ養成講習会 野外研修

[期日]2017年5月14日(日)

[場所]茨城県立白浜少年自然の家「冒険の森」

[指導者]渡邊、坂谷、佐藤

[参加者]S級コーチ受講生20名

○正智深谷高校サッカー部野外研修プログラム

[期日]2017年4月23日

[場所]筑波大学野外運動実習場

[指導者]渡邊、坂谷、藤田、佐藤、吉沢、飯野、
須々木、前川

[参加者]正智深谷高校サッカー部員68名

○燧ヶ岳バックカントリー

[期日]2017年4月22日

[場所]福島県南会津松枝岐村燧ヶ岳

[参加者]吉沢、須々木、前川、竹内

【個人実践報告】

○静水域カヌー・カヤック体験

谷中理矩(研究生)

[期日]2017年5月20日

[場所]B&G 八千代海洋クラブ艇庫

[参加者]谷中、竹内、高橋

今年いきなりの暑さにやられた、谷中、竹内、高橋の3名でカヌーとカヤックを八千代町にある溜め池で行って来ました。竹内、高橋ともに初めての体験であったため、カヤック、カヌーそれぞれの乗り方を確認するところからスタートしました。まっすぐ進めるようになるには左右の漕ぐ力の差を理解する必要がありますが、二人ともあっという間に乗りこなしていました。

水の上を進むという感覚は、やってもらわねば人に伝えるのが難しいものだと思います。こういった新しい感覚を身に着けることが、世界の新しい捉え方を得ることにつながるのかもしれないと感じました。そして社会の多様性を受け入れられるようになるのではないかな。そんなことを感じる活動になりました。



カヌーに乗る竹内と高橋

○筑波山マウンテンバイク

前川真生子(MC1)

[期日]2017年5月14日

[場所]筑波山及びその周辺

[参加者]前川、谷中

5月14日に大学院1年前川と研究生谷中で、マウンテンバイクで筑波山周辺を走ってきました。つくし湖をスタート地点とし、筑波高原キャンプ場、つくばね国民宿舎の林道を往復しました。大学院に入学し、マウンテンバイクを購入した前川は、ハイテンションでスタート地点に到着しました。しかし、登りは長く厳しく、ひたすら自分との戦いでした。一方で、下りは一瞬で終わりです。初めての下りでジャックナイフを恐れた前川は、リアブレーキをロックさせてしまい、激しく転倒しました。それでもなお登りの自分と向き合える時間、下りの爽快感、最終的にMTBの魅力に心底はまってしまいました。



前川と谷中のマウンテンバイク

○富士山バックカントリースキー

須々木俊介(MC2)

[期日]2017年5月20~21日

[場所]富士山

[参加者]吉沢、須々木、谷中

このままでは今季のスキーが納められないということで、研究室の男3人で富士山にバックカントリースキーに行ってきました。須走口五合目にて、車中泊し、翌日の朝5時から出発しました。1700mハイクアップは伊達じゃなく、また標高3000mを超えたあたりから高山病のような症状に襲われ、出発から8時間かけて頂上に着きました。

そして、下りは息をするのも忘れるほど夢中になり、下っているのに高山病が悪化しながら40分かけて滑り、今季最後になるであろう雪を足がパンパンになるまで味わいました。日本一の標高は伊達じゃないなと思

わされる1日でした。天候が良くなければ、山頂にたどり着けなかったであろうし、無事に下りることも出来なかったのではと思います。とはいえ最高の天気と眺め、斜面を堪能することができました。

○スキー未来会議

[期日]2017年5月19日
[場所]八海山東京営業所多目的ホール
[参加者]吉沢

○至仏山バックカントリースキー

[期日]2017年4月28日
[場所]尾瀬、至仏山
[参加者]吉沢、谷中

○谷川岳バックカントリースキー

[期日]2017年4月16日
[場所]谷川岳
[参加者]吉沢、谷中

【野外研新専攻生紹介】

今年も野外研に新専攻生が入りました。新MC1名、新研究生1名、新UG9名が新たに加わりました。

それでは新しい仲間を紹介します。

～大学院生・研究生～

須々木俊介

[部活]バスケットボール
[趣味]釣り

[キャンプネーム] ごろり
[抱負]M2の須々木俊介です。あれ、M2なのに新専攻生?と思ったみなさま。そうなんです、元々は運動生理学の研究室に在籍していたのですが2年の休学など紆余曲折を経て今年から野外研に来ました。また地元は熊本県でどちらかといえば登山やスキーなどに馴染みはありませんでしたが、だからこそ全てが新鮮で好奇心に満ちています。野外研では実践の場での経験を積むことはもちろん、野外教育の意義を更なる築き上げるための研究に励みたいと思っています。よろしくお願いします。



谷中理矩

[部活]スキー
[趣味]応援
[キャンプネーム]ビネガー
[抱負]はじめまして、研究生として4月から野外運動研究室に在籍している、谷

中です。スキー、登山、クライミング、カヌー、マウンテンバイク等、幅広くアウトドアスポーツを行っています。学部生時代は芸術学研究室で学ぶ傍ら4年間自然学校で活動し、一旦はGoProのセールスに就職しましたが、思うところがあり退職しました。今後は野外を武器に、社会へアプローチをしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

～学群生～

青木匠

[部活]トライアスロン
[趣味]野球観戦、
ダイビング、
ロードバイク

[キャンプネーム]未定
[抱負]トライアスロンが
野外運動に入るなんて全

く知らないまま野外研にやってきましたが、筑波大に来てトライアスロンを始めた時点でここに来る運命だったんだと思います!これから名実共に野外の「匠」になれるように精進していきたいです!

～野外の「匠」への道～

- ①スキーが出来るようになる
- ②こんがり日焼けする
- ③世界中の山を登り海を潜る



伊原伸亮

[部活]柔道
[趣味]音楽、漫画
[キャンプネーム]未定

[抱負]はじめまして。新専攻生の伊原です。小さい頃から自然の中で遊ぶ事が好きで、それがつ

いに大学で本気で勉強することになるとは思いもしませんでした。先日父親と飲んでいたら父親も似たような研究室に入っていたらし



く血を感じて少し気持ち悪いです。でもこれまで自然に親しめるような環境を与えてくれたことには感謝です。他の研究室では出来ない多くの経験が出来る研究室だと思います。本気で実習も研究も取り組もうと思います。よろしくお願いします。

川島才路

[部活]アメフト

[趣味]自転車

[キャンプネーム]未定

[抱負]私たちの同期は部活が異なれば性格も様々、身長もデコボコ

と、本当に個性豊かなメンバーが揃っています。まずはそんな同期と仲良くなって、今後の活動でお互いフォローしあうことのできる関係を築くことが先決です。

また、私は野外運動の中でも特に自転車が好きで、素人ながらに愛車をカスタムして乗り回しています。これから色々なカタチを持った自転車に触れたり、他のアウトドアスポーツにも関心を持ったりと、専攻分野の幅を広げていきたいです。よろしくお願いします。



高橋達己

[部活]ボクシング同好会

[趣味]ツーリング、読書、映画鑑賞

[キャンプネーム]ニコ

[抱負]種目別コーチング演習Ⅱで自然の中で活動

することが好きなことに気づき、この研究室へ入ることを決意しました。野外運動の経験はほぼ0に近いですが、積極的に活動に参加し経験を積んでいきたいと考えています。UGの新専攻生の仲間は皆、個性が強いため、これから活動を共にするのがとても楽しみです。研究室をそれぞれの個性で盛り上げていきたいと思っています。精一杯頑張っていきますのでどうかよろしく願いいたします。

竹内慧

[趣味]クライミング、サッカー

[キャンプネーム]ジャック

[抱負]研究室の活動に積極的に参加をして、先生方や、先輩方からたくさんの知識を吸収したいと思っ

ています。特に、オプションプログラムや野外教育実践などに期待をしていて、自分が野外運動を実践する立場、教授する立場の両方に立って多くのことを学びたいと思っています。そして、その中で自分でできることを増やして行き、野外運動の中だけでなく、幅広い知見から物事を考えたり、行える人間になれば嬉しいです。2年間、どうぞ宜しくお願いします。



玉木祥護

[部活]バスケットボール

[趣味]ゲーム

[キャンプネーム]未定

[抱負]初めまして！新専攻生の玉木祥護です。男子バスケットボール]部に所属して身長は

195cmです！一年次で履修した野外運動の授業がとても面白くて野外運動研究室に興味を持ったのでこの研究室を選びました。野外運動の楽しみをもっと学ぶことができればいいと思っています。2年間よろしくお願いします！



東田浩平

[部活]蹴球

[趣味]漫画を読む、旅行

[キャンプネーム]未定

[抱負]登山、キャンプ、自転車旅行などアウトドアアクティビティが大好きです。しっかりと

した知識と広い心を身につけ、漫画「岳」の主人公である島崎三歩のような男を目指します！！なお、現在ワーキングホリデーでドイツにいるため来年度から本格的に参加します。





前田花江

[趣味]料理、
バスケットボール
[キャンプネーム]未定
[抱負]研究室に配属されてから、しっかりとした目標がまだ見つけられていないので様々なプログラ

ムに積極的に参加していきたいです。自然体験を多くしている人や好んでいる人と、好まない体験していない人ではどんな人柄に違いが出るのか、また好まない人が自然体験をして心情の変化が起こるのかなど知りたいことは少しあります。様々な論文を読んでまずは基礎知識から身に着きたいです。

山岸夏希

[部活]オリエンテーリング
[趣味]ナビゲーションスポーツ
[キャンプネーム]なっち
[抱負]美味しいものを食べるのが好きです。どこかへ行ったらその名産品を食べ



てから帰りたいです。地図を読むのは好きですが、走ったりするのはあんまり好きじゃありません。山のスポーツをしてきましたが、アウトドアの世界ではまだまだひよっこです。川も海も空も挑戦していきたいです！

【編集後記】野外運動研究室にフレッシュな仲間がたくさん入ってきて、これから活気あふれる研究室になることを期待しています。(加藤)